



感染症対策に  
アンチウイルススプレーを寄贈  
三菱ケミカル株式会社  
三菱ケミカル株式会社から、グループ  
会社が開発した「アンチウイルススプレ  
ー」(抗菌・抗ウイルス成分含有)を105  
本寄贈していただきました。ありがとう  
ございました。



太田会長(左)から小西教育長に、温度計  
が手渡されました。

非接触式温度計を寄贈  
市PTA連合会  
6月25日、市PTA連合会太田悠一  
長から市内の小中学校へ非接触式温度計  
12台が寄贈されました。  
太田会長は「コロナ対策は学校でも大  
変だと思うので、この温度計を使って少  
しでも学校の負担が減ってくればうれ  
しい」と話されました。



3



1



5



4

7/7  
TUE



2

抹茶の味はいかがかな？  
立言保育所

七夕の日の恒例行事になっている  
『お茶会』で、子どもたちが、茶の湯  
を楽しみました。  
年長組の子どもたちは、和室に入  
ると、深々とおじぎをし、行儀よく  
正座で待ちます。最初に和菓子を入  
れ、茶が振る舞われました。子どもたち  
にも飲みやすいように、少し薄味に  
してあるそうです。少し緊張の面持  
ちで飲んでみると、「苦いけどおい  
しかった」との感想。「アイスみたい  
だった」と、抹茶味のアイスクリー  
ムを思い出した子もいました。

①「足がはやくなりますように」「なわとびがじょうずになりますよ  
うに」「おしをいっぱいつかまいたい」など、思い思いの願いを書いた短  
冊を下げた笹の前で年長組さん。②ちょっと苦かったかな。③お茶  
席の気分を盛り上げるよう、掛け軸も飾られました。④どんな味かな  
？⑤アイスみたい。



2

7/17  
FRI



1

レスキューの技を競う

消防本部

新型コロナウイルスの影響で、全国大会が中止となったため、  
今年度は署内での大会に変更になった『消防救助技術指導会』。  
救助技術の向上を目指して各種競技が行われるもので、今回は  
平成25年から7年ぶりに実施する種目『ロープブリッジ救出』  
です。消防庁舎の2つの訓練塔に渡した20mのロープをつた  
って、対面側にいる要救助者を救出し、自分たちも安全に帰還  
するもの。4人1組6チームが、安全確実性や所要時間を競いま  
す。

見守る仲間たちの「行け！行けー！」という声援が後押しとなり、  
大会は熱を帯びてきました。



4



3

①屋上から見上げて競技を見学。標準タイムは75秒。②救  
助に向かう一心な表情。汗が光ります。③スタートの合図  
とともに、4mのロープでハーネス(安全帯)を作り、自分の体  
に素早く巻きつけます。④安全確保のためにも、要救助者と  
呼吸を合わせることも大切。



6月12日 国土交通省太田川河川事務所が、「小  
瀬川水防災タイムライン  
完成報告会」を開催。ガ  
ャラリー  
おたけで、大竹市、岩  
国市、和木町の首長に  
手渡されました。こ  
れは弥栄ダムの施設規  
模を上回る災害を想定  
し、被害の最小化には  
、どの段階  
でどのような行動をす  
るかをもとめたもので  
す。入山市長は「タイ  
ムラインをもとに、早  
めの避難  
を市民に周知してい  
きたい」と述べました。



7月3日 令和4年度未完成予定の大竹駅橋上化と  
東西自由通路の工事の安全祈願が行われま  
した。JR西日本広島支社の飯田監督副社  
長、入山市長らが、安全を願ってかわり  
入れをしました。飯田副  
社長は「未来に向けて、交流拠点となる  
ことを祈念します」と述べ、入山市長  
は「今、形になるまで  
こぎ着けた。活力ある拠点となること  
を期待しています」とあいさつをしま  
した。



7月15日 新型コロナウイルス感染症防止  
のため、人の密集するイベントが自粛さ  
れています。恒例の「大竹・和木川まつ  
り花火大会」も中止。そんな中でも花  
火を楽しんでもらおうと、「おうちで  
花火」を実施。3密を避けるため、日  
時・場所はシークレット。2回目とな  
るこの日は、玖波漁港で打ち上げられ  
ました。75発、約3分間の夏の夜空を  
彩る大輪の花のショーでした。



1

①非接触式の体温計で、入り口で検温。  
問診票に体調も記入。



2



3

②なかなかうまくテントが畳めません。  
③段ボール製の折り畳めるパーテーション。  
体調不良者などの簡易個室になります。

6/25  
THU

旧小方中学校体育館  
f 6月24日、25日の2日間に分かれて、災害時の避難  
所対応の市職員約70人が、避難所での新型コロナウイルス  
感染症対策を学びました。  
避難所に見立てた入り口では、まず検温や体調チェック。  
室内での3密を避けるため、避難者同士の距離確認、部  
屋の換気、体調不良者の部屋分け、折り畳み式のパーテ  
ーションの使用など、今までにない対策を行います。  
テントの設置では、片づけ方が意外に難しく、説明書  
を読みながら四苦八苦。ようやく畳むことができたこと  
からも、日頃の訓練の大切さを実感したようです。

避難所での感染症対策を学ぶ

